

## 平成25年度 第1回 理事会 議事録

日 時：平成25年3月9日（土）15時～

会 場：北農健保会館大会議室

出席者：近藤・嶋倉・高橋・紺屋・渋谷・黒田・須田・杉木  
印藤・春間・櫻庭・山田・西谷（光）・西谷（清）  
高橋・大江・関原・志手・三浦・田中・山内・中川  
奈良・菊池・武田・鈴木・大橋・碓井理事、川村  
高坂監事

### 1 開 会

※理事31名中、出席28名で理事会は成立することを報告する。

### 2 議事録署名人の選出

近藤会長のほか、西谷理事、高橋理事を指名する。

### 3 報告事項

#### （1）評議員会協議結果報告

○評議員会で決定した理事・監事について事務局から報告する。

### 4 協議事項

#### （1）役員を選任について

##### ①会長1名、副会長3名、常任理事7名の決定について

○協会規約により、会長以下11名は会長指名理事が務めることになることを説明し、候補者名簿を配布する。

※全会一致で決定する。なお、次の意見があった。

- ・各委員長は常任理事が務めることになっているが、各委員会の中から選ぶべき。今後、常任理事は委員会担当理事でも良いのではないか。
- ・役員数は減ることを了承しルールを決めてきた。ここで議論しても答えは出ないので上層部で検討してもらうことで一任したい。新理事長の手腕に期待したい。
- ・役員数が減っても体制は変わらないのはどうか。今の意見を踏まえ検討してほしい。異議はなくこの案に賛成する。

⇒改革の趣旨を踏まえ前向きに考えていただきたい。

##### ②会長指名理事以外の常任理事3名の決定について

○選出方法について会長一任との意見があり、事務局から大江理事、田中理事、碓井理事の3名を提案する。

※全会一致で決定する。

##### ③理事長1名、副理事長2名の決定について

○協会規約により、理事長及び副理事長1名は会長指名理事から選ぶことを説明したうえで会長から理事長には渋谷氏、副理事長には黒田氏を推薦。併せて、もう1名の副理事長には大江氏を推薦する。

※全会一致で決定する。

◎近藤会長から就任のあいさつ

・引き続き大役を務めることになり身の引き締まる思い。新体制による運営になるが皆さんのご協力をよろしく願う。

(2) 顧問・参与の推薦について

①顧問について

○会長から、前副会長の杉本 拓氏、花田 徹夫氏の両名を顧問に推薦する旨の提案がある。

※全会一致で決定する。

②参与について

○会長から、前副理事長の阿部良行氏を参与に推薦する旨の提案がある。

※全会一致で決定する。

(3) 平成 25 年度協会運営の基本方針（案）について

○渋谷新理事長から説明がある。

・今後の理事会はこのような口の字形式で行いたい。なお、メディアに情報を提供して報道等で取り上げてもらうよう努めていきたい。

※全会一致で決定する。なお、次の意見があった。

・地区協会も加盟団体となったが、33 加盟団体の表現は理解しにくい方が多いと思う。

⇒25 地区協会、8 加盟団体を加盟団体との表現に統一したが、経緯等を説明しながら進めていきたい。

(4) 平成 25 年度事業計画（案）について

○総務委員会から順に新委員長から説明する。

■議案の修正

総務委員会（2 ページ）の (5) その他 → (6) その他

指導普及委員会（17 ページ）の②第 33 回道新加<sup>ッ</sup>小学生バレーボール大会

会場 未定 → 苫小牧、石狩、深川、釧路

指導普及委員会（17 ページ）の③第 11 回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会

期日 11 月 30 日（土）～12 月 1 日（日） → 11 月 23 日（土）～11 月 24 日（日）

指導普及委員会（17 ページ）の④第 30 回北海道小学生バレーボール選抜優勝大会

期日 1 月 11 日（土）～1 月 13 日（日） → 1 月 12 日（日）～1 月 14 日（火）

※全会一致で決定する。なお、次の意見があった。

・強化委員会の 9 人制指導者講習会は開催するのか。

⇒昨年 11 月時点で担当委員からは難しいとの意見であったがどうするか決定したい。

・ソフトバレーの普及に関する具体的な記載がない。

⇒指導普及委員会が小連と連携し取り組む。

・地域リーグの検証とあるが見通しはどうか。

⇒新年度は大学チームの参加も認めクラブ選手権大会と合わせて行う。男女各 10 チーム位が参加する大会を目指したい。2 月 25 日の JVA ブロック理事長会議でも意見があり、今年度中に考え方をまとめる予定。

・ビーチバレーの組織化はどうか。ビーチバレーは北海道になじむのか。

⇒ソフト連が中心となって 4 月 1 日にビーチ連盟を設立する予定。JVA もオリンピック種目であり、全国的にも組織化が指導されている。

・ U14 は男子であり、地区ではヤングバレーボールを進めているが、道の動きは。

⇒ヤングバレー連盟の 4 月 1 日設立に向けて準備を進めている。ヤングの関連は指導普及委員会が担うが、各地区協会においてクラブを 1 チーム以上作ってほしい。

(5) 平成 25 年度一般会計予算（案）及び特別会計予算（案）について

○一般会計・特別会計について説明する。

■議案の修正

収入の部（18 ページ）の賦課金 ママさん → ママ

支出の部（19 ページ）の助成金 家婦連 → ママ連

特別会計予算書（21 ページ）の 2 特別事業等基金

繰入金 → 貸付金収入      繰出金 → 貸付金

※全会一致で決定する。なお、次の意見があった。

・ 13 カ月予算となることなどから財政調整基金を 270 万円取り崩す計画だが、こうした状況が続くと基金がなくなる。収入不足であれば事業をやめる必要がある。

⇒平成 25 年度で収支について総合的な見直しを行う考えである。

・ 役員数を減らすことで支出を減らすことにつながるとの説明であった。実態が違うのではないか。

⇒会議が 3 月に集中するため、会議費等が必然的に膨らんでいる。

・ 強化育成基金は選手育成のために設けた特別な基金と思うが、平成 25 年度は前年度の 82 万円から 70 万円に減額しており逆行しているのではないか。

⇒選抜選手の負担が大きい実態は把握しているが、基金においても緊縮財政の折、最小限にとどめてもらっている。

・ ゴールドプラン関連事業は J V A からの支援はないのか。

⇒北海道独自の事業であり J V A からの助成等はない。

・ 中学校地区選抜大会が 2 回あるとの内容は。

⇒今年の 3 月から来年 3 月までの 13 カ月予算となるため、3 月に開催する本大会は 2 回あり、その事業費 40 万円が増額となった。

・ 指導普及委員会の交流型指導者養成事業は継続していくのか。

⇒ゴールドプラン関連の道単独の新規事業で、今後、継続実施する考えである。小連等と連携しながら実施してくが、調整し理事会で報告していく。

・ 予備費で考えているビーチ連及びヤング連の設立に対する支援は、軌道に乗るまでの期間 3 年程度を支援する考えであれば基金で対応すべきでないか。

⇒基金での支援が良いとのご意見であり、ビーチ連及びヤング連に対する支援の方法については 5 月に再提案したい。

(6) 平成 25 年度評議員会開催日程について

○規約に基づく評議員会の開催日時及び会場は次のとおり決定する。

・ 期日：平成 25 年 5 月 25 日（土） 15 時

・ 会場：北海きたえーる中研修室

◆このことに伴い、第 2 回理事会については、同日 13 時 30 分から開催する予定です。

## 5 その他

### ●学連からの連絡

- ・各地区協会に収める大学チームの登録料に関し、先の総会において、春の大学リーグに参加するチームは、各地区協会の領収書を添付することを決定したので報告する。

## 6 閉 会